



2025年10月 8 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号 : 4588)
問 合 せ 先 執 行 役 員 秦 耕 平
(TEL.03-5472-1578)

OBP-801 の眼科領域での特許範囲の拡張に関するお知らせ

当社がアステラス製薬株式会社から 2009 年に導入した OBP-801 は、京都府立医科大学眼科学教室（外園千恵教授主宰）の上野盛夫准教授の研究グループにて、新規適応領域である眼科領域での開発展開を検討しています。この度、2024 年に登録された特許（特許番号：7542799）に続き、同領域に関する保護範囲をさらに拡張するものとなる分割出願について、特許査定を受領しましたので、お知らせいたします。

当社と京都府公立大学法人は、2024 年に OBP-801 の「緑内障治療後の濾過胞線維化抑制」と「加齢黄斑変性」に対する用途特許を日本国内で成立させましたが、特許請求の範囲上、「加齢黄斑変性」に関してのみ OBP-801 の投与量が限定されていました。今回の分割出願に基づく特許範囲の拡張により、投与量の上限が 150 倍まで拡がり、将来的な臨床応用に向けた開発の自由度が高まります。本特許の存続期間は、2039 年 7 月までとなります。

加齢黄斑変性は、加齢に伴い網膜の中心に出血やむくみをきたすことで視力が低下し、放置すると非可逆的に進行する病気で、日本では約 70 万人が罹患しているといわれています。これまでの実験結果から、OBP-801 は滲出型だけでなく、有効な治療方法が確立していない萎縮型の加齢黄斑変性の治療にも利用できる可能性が示唆されています。

本件による 2025 年 12 月期の当社業績への影響は軽微です。

以上